

3月沿岸定線栄養塩測定結果

平成29年3月9日
岩手県水産技術センター
TEL0193-26-7919

1. 表面分布 (図1)

本県沿岸10海里以内の栄養塩 ($\text{NO}_{2+3}\text{-N}$) の表面分布は86から127 $\mu\text{g/L}$ であった。

なお、採水は漁業指導調査船岩手丸により、0、10、30、50海里地点で3月1日から3月2日に行った。

2. 10m以深の分布 (図2、図3、図4)

本県沿岸10海里以内では、黒埼定線で85から113 $\mu\text{g/L}$ 、トドヶ埼定線で87から122 $\mu\text{g/L}$ 、尾埼定線で97から122 $\mu\text{g/L}$ 、椿島定線で111から131 $\mu\text{g/L}$ の範囲であった。

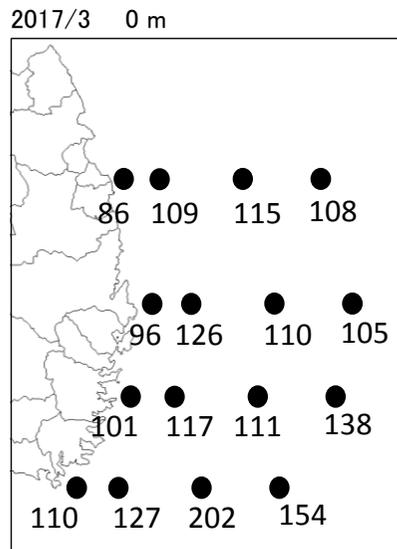


図1 表面の分布

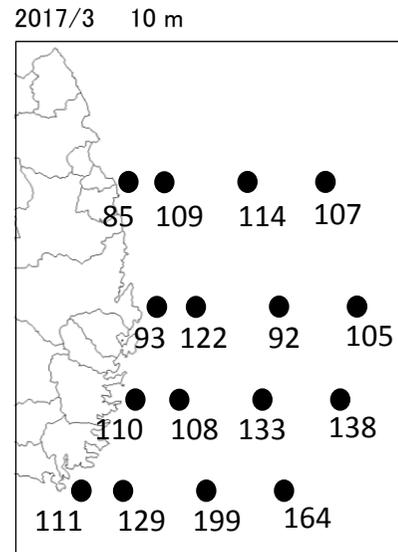


図2 10m深の分布

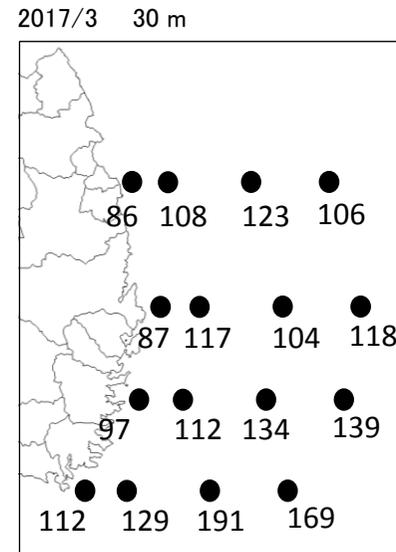


図3 30m深の分布

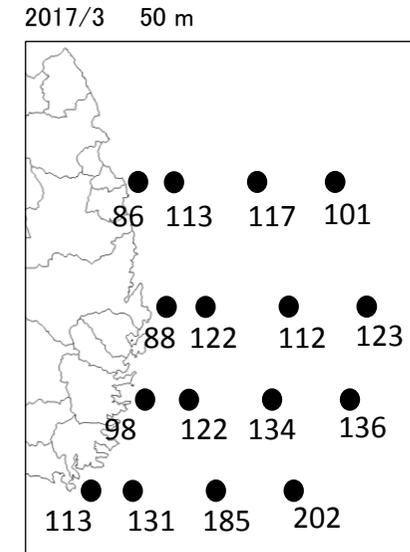


図4 50m深の分布

※背景地図にはCraft MAPを使用 (<http://www.craftmap.box-i.net/>)

【参考】

- ・ 栄養塩 (硝酸+亜硝酸態窒素 $\text{NO}_{2+3}\text{-N}$) 単位は $\mu\text{g/L}$ で表す。
 - ・ 10 $\mu\text{g/L}$ 以下でワカメの芽落ちや原藻加工後の色落ちの危険がある。
 - ・ 20 $\mu\text{g/L}$ を一応の安全な目安としているが、20~30 $\mu\text{g/L}$ でも晴天の日が続いたり、海水交換の悪い時は、ワカメの芽落ちや色落ちが起こる場合がある。
- ※農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」による。